

## (大腿骨近位部骨折症例の自宅復帰) に関する研究のお知らせ

帝京大学ちば総合医療センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:平成 29 年 5 月 1 日 ~ 平成 29 年 12 月 31 日

### 〔研究課題〕

大腿骨近位部骨折症例の自宅復帰に影響する因子の検討

### 〔研究目的〕

大腿骨近位部骨折は手術、リハビリテーションを受けても自宅復帰が困難となることがあります。本研究は自宅復帰ができるか否かの要因を検討します。

### 〔研究意義〕

自宅復帰要因を明らかにすることで、術前から将来的な生活を考慮することが可能となり、適切なリハビリテーションの提供につながると考えられます。

### 〔対象・研究方法〕

対象:2006 年～2016 年に大腿骨近位部骨折を受傷し、当院で手術をした患者様。

研究方法:過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはありません。カルテと地域連携パスのデータを調べ、最終的に自宅復帰できたか、施設へ入所したかを調べます。また、自宅復帰できるか否かの要因(身体機能、認知機能、介護力など)を検討します。

### 〔研究機関名〕

帝京大学ちば総合医療センター

### 〔個人情報の取り扱い〕

使用するデータは個人が特定されないような匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

### 問 い 合 わ せ 先

研究責任者:木本龍 帝京大学ちば総合医療センター リハビリテーション部 理学療法士 副主任

研究分担者:遠藤洋毅、大隅雄一郎、田中尚文、村上峰子

住所:千葉県市原市姉崎 3426-3 TEL:0436-62-1211 (代表) [内線 3429]